

# 小樽市立北陵中学校 グランドデザイン

その1：両校の伝統等を踏まえながらも、全く新しい発想で学校づくりを進めます。

## 自信と誇り

北小樽地区は、その昔、漁業で栄え、いち早く鉄道が敷かれ、小樽のみならず北海道の輝かしい歴史を支えてきました。北山・末広の統合校は、まさに、この地域にある学校として、互いが築きあげてきた伝統を大切にしながらも、新しい時代に求められる理想の学校として平成29年4月に開校します。ここに学ぶ生徒が「自信と誇り」を胸に、世界に羽ばたく人として、たくましく生き抜く力を身につけられるよう、学校づくりを進めます。

その2：信頼される学校づくりとは・・・「5つの基本」

- ① 国や道、小樽市が目指す方向性をしっかりと踏まえた教育活動を行う学校
- ② 小中連携が図られ、9年間の義務教育に一貫性がある学校
- ③ 生徒にとって安心して生活し、自分の夢や目標をもち、進路実現ができる学校
- ④ 保護者にとって学校での子どもの様子が手にとってわかり、いつでも相談できる学校
- ⑤ 教職員が高い使命感と情熱をもち、組織的な経営がされている学校

生徒のための  
学校であること

その3：本校で学ぶ生徒に身につけるべき力とは・・・「3つの柱」と「3つの教育」

## 目指す生徒

### 知の柱

学びを生かし、考え、行動に結びつける人間づくり

- 世界に羽ばたく「語学力」
- 進路実現を可能にする「学力」

・英語を重点教科とした外部人材等の積極的な導入  
・高校、大学と連携を図ったアクティブラーニングの研究、実践  
・家庭学習の徹底指導 等々

### 徳の柱

心で感じ、思いを伝え、表現できる人間づくり

- つながる「コミュニケーション力」
- 豊かな「道徳的実践力」

・小樽の歴史や文化を学び、地域に貢献できる学習の充実  
・全教科、全領域を通し、互いを尊重できる豊かな人間性を育成 等々

### 体の柱

心と体を鍛え、規律ある生活ができる人間づくり

- 健康な心と体を維持する「気力」「体力」

・健康、安全、食育、性教育などの取組  
・保護者とともに子どもの生活改善に組織的に取り組む  
・地の利を生かした部活動の充実(桜陽高校との連携、施設等) 等々

## 「英語教育」、「ふるさと教育」、「命の教育」

その4：生徒の安心を支える取組とは・・・「5つの生徒指導方針」が息づく学校

全職員が生徒を「とらえる」「ほぐす」「みちびく」「のばす」「はなす」指導を共通実践

その5：地域にある学校とは・・・小中連携のコミュニティースクールに向けて

地域・住民の声を学校経営に反映すること、地域とつながること

## 地域

